各学会の見どころ

Spine Week Japan 2026

第60回日本側彎症学会（JSS）

会長 **髙橋 淳**
（信州大学医学部運動機能学教室）

第60回日本側彎症学会では、私の恩師Peter Newton先生による思春期特発性側弯症の三次元矯正に関する招待講演と、特別企画「チームで挑む重症心身障害児の側弯症診療」に注目です。最新の手術技術と多職種連携の重要性を発信します。

第35回日本脊椎インストゥルメンテーション学会（JSIS）

会長 **波呂 浩孝**
（山梨大学大学院整形外科学講座）

【特別講演2】
2026年11月19日（木）10:50〜11:50
Ferran Pellisé（Hospital Vall Hebron / Hospital Quiron）
When Fusion Meets Aging: Spinal Derformity Surgical Outcomes Across the Lifespan
Prof. PelliséはScoliosis Research Societyにおいて2026年〜2027年Presidentに就任されました。成人脊柱変形の最先端の情報を拝聴ください。

【特別講演5】
2026年11月20日（金）10:10〜11:10
渋澤 健（シブサワ・アンド・カンパニー株式会社）
渋沢栄一の「論語と算盤」で未来を拓く
渋沢栄一氏の玄孫である渋澤健氏をお迎えし、「渋沢栄一の『論語と算盤』で未来を拓く」をテーマにご講演いただきます。道徳と経済の両立を説く思想から、医療の社会的使命と持続可能性、未来を拓く視点を学びます。

第34回日本腰痛学会（JSLSD）

会長 **西田 康太郎**
（琉球大学大学院医学研究科 整形外科学講座）

今大会の特別企画は「エコー」と「多職種連携」です。超音波で腰痛の新たな病態に迫る企画と、医師・理学療法士が同じ壇上で診療の最適解を探る企画を通じ、学会テーマ「腰痛の病態を究める」を日々の臨床へとつなげます。

第29回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会（JASMISS）

会長 **中川 幸洋**
（和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 整形外科）

JASMISSは脊椎内視鏡を中心としてきた学会です。脊椎内視鏡関連のシンポジウムは４つ企画しました。技術認定医二刀流の先生方の内視鏡の使い分け、経験豊富な先生の合併症対策、教訓症例からの学び、手術機器の工夫です。脊椎内視鏡をされる先生方、これから取り組まれる先生方にはぜひご聴講いただきたいです。またUBEの世界的権威のPark Cheol Wung先生の講演や脳外科FESSの権威西村先生、尾原先生、梅林先生の招待講演もお見逃しなく。最終日にはMEDの権威吉田宗人先生の招待講演もよろしくお願いします。

第16回最小侵襲脊椎治療学会（MIST）

会長 **成田 渉**
（亀岡市立病院）

【合同シンポジウム11「Digital Spine」】
AI・XR・3DCGは脊椎診療をどう変えるのか。予後予測、チーム医療DX、医療機器開発・起業の実例から、現場の課題を解決するデジタル技術の現在地と、臨床実装への道筋を議論します。

【ビデオシンポジウム2「頸椎椎弓形成術を再考する」】
外視鏡・内視鏡、小皮切による低侵襲手技を動画で紹介。後方組織の温存と早期回復を目指す工夫から、標準化・再現性まで、頸椎椎弓形成術の進化を学び、明日の手術に生かすセッションです。

第16回日本成人脊柱変形学会（JSASD）

会長 **金子 慎二郎**
（藤田医科大学医学部脊椎外科学講座）

今回の年次学術集会のテーマは、「真のプロフェッショナリズムに基づく脊柱変形治療-積分値理論に基づく、より長持ちするより良い治療の探求-」とさせていただいており、脊柱変形に対する治療に於いて、様々な観点で、また、脊柱変形治療以外の領域でも、真のプロフェッショナルとして仕事をされておられると私が考える方々に、「ザ・プロフェッショナル・セミナー」というタイトルで特別講演を御願いしております。また、上記のテーマに関連した各種のシンポジウムも予定しており、これらのシンポジウムや各種のセミナーでも、真のプロフェッショナルとして仕事をされておられる先生方に御講演を御願いしております。

第13回日本脊椎前方側方進入手術学会（JALAS）

会長 **野尻 英俊**
（順天堂大学医学部整形外科学講座）

今年のJALASでは、次世代LLIF機種の登場と腹臥位LLIFの本邦初導入を受け、「次世代LLIF」をテーマにセッションを企画しました。最新技術や安全性向上への取り組みを共有し、LLIFの未来を展望します。